

北九州市立白野江植物公園
指定管理者検討会 会議録

- 1 開催日時 令和4年10月6日(木) 13:00~14:50
- 2 場 所 北九州市役所(小倉北区内1番1号) 12階 121会議室
- 3 出席者 (検討会構成員) 薛構成員(座長)、松木構成員、城水構成員、横田構成員、植田構成員(事務局) 建設局公園緑地部長、公園管理課長、公園管理課経営係長、職員
- 4 会議内容
 - 当日のスケジュール、審査にあたっての留意点、審査結果の公表等について事務局より説明。
 - 構成員の互選により、座長を選出。

○応募団体(内山緑地建設株式会社)より提案概要に関してヒアリング

- (構成員) 入場者は年配の方が多いようだが、大学生をふまえた若い世代へのアプローチはどうなっているのか。
- (応募団体) イベント内容を充実させる。興味を持ってもらうきっかけ作りが必要など思っている。若い方々にはデートスポットのような使い方も多い。そういう場を作っていきたい。
- (構成員) 愛情をもって指定管理に取り組んでいることが伝わってくるが、収支計画について考えを聞かせてほしい。
- (応募団体) 収支について、収入は、まずは入場者を増やす。旅行会社のツアーも始まってきている。問題は、コロナ禍で旅行会社が打撃を受け、営業先の支店等がなくなっており、営業活動を一からしなければならぬ点。
その点、一者だけで営業が難しい部分は、関門観光企画担当者会議などでも取り組んでいきたい。
支出に関しては、光熱水費の削減を推し進めていきたい。消耗品などは再利用している。
- (構成員) 広告宣伝費年間120万円だが、どのように宣伝して、どのような人数に届くか。
- (応募団体) 普段は無料媒体を活用し、大きなイベントの時のみ、有料広告を活用している。
有料広告は下関や、福岡からの取り込みも行っている。
- (構成員) 光熱水費等上昇しているが、指定管理料を令和5年から下げていくように提案をしている。
人件費なども上昇傾向にあるが、光熱水費等の経費について削減できるか。
- (応募団体) 通信機器等の進歩などもあり、光熱水費等の経費が圧縮できる部分もある。
当社はISO14000を取得しており、電気代、燃料等のエネルギー使用に関しては、年度ごとに目標を定め、月ごとのチェックを行っている。エネルギー削減、作業工程の見直しを行い、支出を削減していくが、その際に必要なのは社員教育だと思っている。
- (構成員) 水は水道水か井戸か。
- (応募団体) 水道水を使っている。

- (構成員) 今、コロナ以外で問題意識を持っていることを教えてほしい。
- (応募団体) 公園は70年歴史がある。樹冠がかなり大きくなって日照障害となっている部分がある。今回、大規模な間伐・剪定を計画に入れており、日照を確保できる。そうすると、新たなエリアを作ることができ、施設自体の魅力向上につながると思う。
- (構成員) インバウンド・団体客も大事だが、地域に根差すことが大事だと思う。専門性を生かしたサービスに力を入れていくといいのではないかな。そういった面はあるか。
- (応募団体) アサギマダラスタンプラリーがある。花を扱う施設と連携したイベントを行うことができた。響灘ビオトープがラブ・バード・ラリーを行っているなど、連携が深まってきている。
- (構成員) 広告に関して、今のデザインになって何年たっているか
- (応募団体) 10年ほど経っている。今のところ、大規模に変えることは考えていない。
- (構成員) 子育て世代に向けたHPになっていないと感じる。イベントが自分たち向けでないと感じるのではないかな。
- (応募団体) 検討したい。
- (構成員) リピーター獲得に関して、年間パスポートの提案があった、実現に向けて頑張ってもらいたい。
- (応募団体) 実施に向けて頑張りたい。
- (構成員) 広い園内で回りに人がいない状況での救護についてどのように想定しているか。
- (応募団体) 携帯で電話があれば、軽車両の緊急車両で迎えに行く。
- (構成員) みなで携帯を持っているということが前提となるか。
- (応募団体) はい。

以下、構成員からの意見

- (構成員) HPがスマホ対応になってなかった。若者はスマホで見ることも多い。対応してほしい。情報が届く層が変わると思う。
- (構成員) 専門性を生かした講座等をしていただけたらいいと思う。園芸療法みたいな取り組みもあるんじゃないか。年間パスポートはもっと高くてもよい。休憩所を有料にしてはどうか。
- (構成員) SNSの拡散力はインスタグラムよりTwitterのほうが高い。検討いただいて、SNSの更新頻度も上げていったほうがいいと思う。
- (構成員) 入園した際、結婚式の前撮りを行っていた。アピールをすれば入場者増につながるのではないかな。
- (応募団体) 検討して、できる部分は対応したい。

○構成員は、提案概要のヒアリングと質疑応答を受けて各自得点を記入。

○構成員は、審査項目「指定管理者としての適性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定

- (構成員) 内山緑地建設株式会社は、理念、実績、経験を評価できる。
- (構成員) 審査の結果、指定管理者としての適性については、現在の評価レベルでよいか。
- (全構成員) よい。

(全構成員) 検討会の評価レベルは、

- 内山緑地建設株式会社は、「管理運営の理念」、「実績・経験」の項目が4、「人的・財政基盤」が3 が妥当であるとする。

○構成員は、審査項目「有効性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定

(構成員) 内山緑地建設株式会社は、専門的知見は評価できるし、イベント内容なども工夫していると思うが、広報に弱いところがあるように感じる。

(構成員) 愛情を持って取り組まれているのはわかるが、新鮮な視点や、営業・広報への努力を見せてほしい。発信を強めてほしい

(全構成員) 検討会の評価レベルは、

- 内山緑地建設株式会社は、「設置目的の達成」、「利用者の満足度」の項目が3 が妥当であるとする。

○構成員は、審査項目「効率性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定

(構成員) 内山緑地建設株式会社は、光熱水費等の節減に取り組んでいる点を評価した。

(全構成員) 検討会の評価レベルは、

- 内山緑地建設株式会社は、「指定管理料及び収入」、「収支計画の妥当性及び実現可能性」の項目が3 が妥当であるとする。

○構成員は、審査項目「適正性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定

(構成員) 内山緑地建設株式会社は、何かあったときにサポートできる組織体制が整っている点を評価した。

(全構成員) 検討会の評価レベルは、

- 内山緑地建設株式会社は、「管理運営体制」の項目が4、「平等利用・安全対策・危機管理体制」の項目が3 が妥当であるとする。

○構成員は、次のとおり検討会としての検討結果をとりまとめた。

内山緑地建設株式会社は、市が所管する唯一の植物公園施設である白野江植物公園に対する

理解や愛情も感じられ、また、これまでの経験もあり、提案した事業内容等も指定管理者として相応しいものと思われる。

審査の結果、検討会としては内山緑地建設株式会社が指定管理者の候補として相応しいと考える。

なお、付帯意見として、「今後は、SNSなどの媒体を活用するなど、公園のアピールを積極的に行い、若年層を含む利用者の増加に努めてほしい」を付す。

○とりまとめを行って、検討会を終了した。